

地方創生拠点整備交付金に係る事業効果検証(平成29年度実施分)

No.	1
-----	---

担当課	地域振興課
-----	-------

交付対象事業名	福岡の森 八女の木 プロジェクト				
総合戦略での位置付け	1.「ひと」と「しごと」をつなぐ	事業費	計画額(円)	17,249,000	
	①就業の場の拡大		実績額(円)	17,098,200	
事業概要	森の再生を行い、木材の安定調達・供給体制の確立と需要拡大を図りながら木材製品の利活用を支援する「地域商社」の活動拠点として、八女福島地区の伝統的建造物群保存地区の中心である旧八女郡役所の1区画を整備するもの。				
活動内容	拠点施設は、地域商社の事務所、及び建築家やクリエイターのアイデアと地元伝統技術による融合によって生み出された付加価値の高い木質商品のショールームや商談の場として活用し、八女産材の普及・拡大に向けて地域内外の人々が交流できる場とする。また、八女産材を活用した内装建築、及び家具等の製品の営業企画及び商品開発を行う。				
主な成果	八女産材を床や壁、造作材等を活用して施設の整備が実現した。あわせて、パーテーションや照明器具、ベンチ、イス、棚、流し台等の新たな商品開発を行い、拠点施設に展示し、八女産材を活用したオリジナル商品の開発が進めることができた。また、設立予定の地域商社並びに既存のプロジェクト等で利用する空間の環境整備ができた。				
重要業績評価指標(KPI)	指標(単位)	基準値	目標値	実績値	説明
	販路拡大企業累計数(社)	0	2	2	プロジェクトを通じて、都心部の業者への販売が実現した
	新規林業経営体の数(件)	0	2	0	経営体との協議が進まなかったため。
	人口流入数	0	5	2	本事業を遂行するために、地域おこし協力隊及びプロジェクトメンバーが参画。
取組の検証	事業効果	③本事業は地方創生に効果があった			
	課題・改善点	新規林業経営体をつくりだすことができなかつたため、商品開発、販路拡大を進めながら、加工・販売部門での林業経営体をつくりだすことを目指す。人口流入についても、地域商社等への雇用に努める。			

<事業効果>

- ①本事業は地方創生に非常に効果的であった ②本事業は地方創生に相当程度効果があった
 ③本事業は地方創生に効果があった ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	③事業の継続
	具体的な商品開発やマーケティング、ニーズ調査等を継続し、地域商社設立を目指していく。また、素材生産から加工、販売に繋がる八女林業6次産業化を説明し八女産材をPRするメディア媒体(HP)等の作成を進める。

<今後の方針>

- ①追加等さらに発展させる ②事業内容の見直し(改善)
 ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定どおり事業終了

有識者からの評価	①総合戦略のKPI達成に有効であった
意見	今回整備した拠点を中心として、今年度設立予定である地域商社を核として八女木材のPRを図っていただきたい。

<有識者からの評価>

- ①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

No.	2
-----	---

担当課	企画政策課
-----	-------

交付対象事業名	矢部地区山村滞在施設整備計画				
総合戦略での位置付け	2.「ひと」と「八女市」をつなぐ	事業費	計画額(円)	149,980,000	
	②交流の拡大		実績額(円)	147,522,600	
事業概要	矢部地域の活性化を図ることを目的として、山村滞在施設の建設を行い、雇用機会の創出、都市との交流によるにぎわいづくりによって、地域内の経済の活性化につなげ、人口流出、高齢化に歯止めをかける。				
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊客のプライバシーに配慮した高級感溢れる平屋造りの離れ宿7棟と、別棟のレストランを建設。 ・平成28年3月にオープンした観光物産交流施設「柚のさと」との連携を図り、矢部地区に訪れる日帰り客及び宿泊客の幅広いニーズに対応可能となる体制作りを構築した。 				
主な成果	滞在施設の運営を行う民間業者が地元雇用を行ったことにより、安定的な雇用への期待が持てる。また、観光物産交流施設及びその他の施設運営についても同一民間業者が運営することとなり、矢部地域の施設を一体的に運営することにより、今後の集客力に期待が持てる。				
重要業績評価指標(KPI)	指標(単位)	基準値	目標値	実績値	説明
	矢部地域への観光入込客数(人)	63,400	86,400	123,600	平成28年3月にオープンした「柚のさと」への観光客増加のため
	滞在施設の収入(千円)	0	0	0	建設工事のみで、施設運営実績なしのため。
	滞在施設への宿泊客数(人)	0	0	0	建設工事のみで、施設運営実績なしのため。
取組の検証	事業効果	③本事業は地方創生に効果があった			
	課題・改善点	平成29年度に滞在施設の建設を完了し、平成30年7月21日から営業が開始された。今後、滞在施設を矢部地域の拠点施設として、矢部地域の活性化に寄与していく。			

<事業効果>

- ①本事業は地方創生に非常に効果的であった
- ②本事業は地方創生に相当程度効果があった
- ③本事業は地方創生に効果があった
- ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	③事業の継続
	滞在施設を矢部地域の拠点施設として、その他の観光施設及び矢部地域の自然、文化資源等を活用しながら、地域活性化を図っていく。また、矢部地域の観光入込客数が増加することにより、地域ににぎわいを取り戻し、新たな地元雇用の創出を生み出すことにより、若年人口の流出にも歯止めをかける。さらに矢部地域を訪れた方々に八女のファンになっていただき、将来的な移住・定住のきっかけづくりを構築していく。

<今後の方針>

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し(改善)
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

有識者からの評価	①総合戦略のKPI達成に有効であった
意見	今回整備した宿泊施設を拠点として、矢部地域の自然、歴史、文化資源を活用し、地域住民との連携を図りながら観光客の集客に努めていただきたい。

<有識者からの評価>

- ①総合戦略のKPI達成に有効であった
- ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない